

もしも施設内で **地震** に遭遇したら……

エレベーターの中



多目的室4で調理中



多目的ホールで演奏会中



施設内で揺れを感じたとき、
事前に知っておくといざというとき

安心につながるかもしれない

情報をお知らせします

TAMA Community Letter

玉川学園コミュニティセンターだより

Vol.125 2024年2月

～震度とゆれの目安は？～

そのときの状況で感じ方は違うと思われませんが、一般的には次のような目安があてはまります。

【震度2】屋内で静かにしている状況で、大半の人が揺れを感じる

【震度3】屋内にいるほとんどの人が揺れを感じる

【震度4】吊り物が大きく揺れたり、不安定な置物が倒れる

【震度5】大半の人が物につかまらなると移動が難しく、固定していない家具などが動いたり倒れる

代表的な場面別 いざという時 慌てないための予備知識

大きな地震が発生したら、職員の案内に従って避難をしてください。

職員の誘導があるまでの間、ご自身の身を守る行動をお願いします。

いざという時、以下のような対処方法もあります。ただし、揺れの度合いや頻度によっては危険につながることもありますので、無理せずに行動しましょう。

エレベーター内で地震に遭遇したら……

エレベーターは震度4相当の揺れを感知すると、今いる場所に近い階で扉が開くしくみになっています。地震によりエレベーターに乗っている方が、閉じ込められないよう制御されているためです。ただ万一、故障等で運転が停止してしまった場合、エレベーター内の「ひじょう」ボタンを押すと、当施設の警備員室、もしくはエレベーター管理会社と通話ができます。



多目的室4で調理中に地震が来たら……

ガスコンロを使用中だった場合、揺れ方が小さく鍋などが倒れない状態なら、火を止めて、身の安全を確保してください。

ただし震度5相当の大きな揺れ方が来たときは、ガスの供給が自動で止まります。揺れが激しいときは、コンロには近づかず、まず身の安全を確保してください。

多目的ホール内にいるとき地震がきたら……

扉の近くの方は、可能なら全ての扉(3 か所)開けて逃げ道を確認してください。鏡や照明などの吊り物の下を避け、上から落ちてくる物から身を守る行動を意識してください。

また、ホール内は比較的頑丈な構造なので、揺れがおさまるまで建物内にとどまる方が安全な場合もあります。



ここでご紹介したのは、ほんの一例です。

ご利用の際に、参加者みんなで避難経路を確認するなど

もしもの時に、慌てず避難ができるよう準備しておくとういかもしれません。

みなさまのご協力をお願いします。